



テーマ1

## 中学生の除雪ボランティア活動

昨年の冬、あやめ野中学校(月寒東3条11丁目)の生徒たちが、校区内に住む高齢者宅の除雪ボランティアを行いました。初めての取り組みでしたが、同校の生徒会が中心となり、取り組みについて全校生徒に参加を呼びかけたところ、約30名の生徒有志が集まりました。生徒たちは2つのグループに分かれて、地域の除雪協力員さん(除雪ボランティア)とチームを作り、1シーズンの間協力して作業を行いました。



### あやめ野中学校 ～除雪ボランティアに参加して～

「初めて除雪ボランティアに参加しました。内容は、登校時に担当のお宅に寄り、協力員さんにやり方やコツを教えていただきながら除雪をしました。はじめは緊張しながらなかなか話もできませんでしたが、2回目からは協力員さんとも話ができるようになり、とてもやりやすくなりました。除雪をしている最中にそのお宅の方とお会いすることもできて、喜んでいただいている様子を見ることで、さらにやりがいを感じながら活動することができました。」

あやめ野中学校では、今年の冬も除雪ボランティアに取り組む予定です。社会福祉協議会は、ボランティア活動を通じた地域と学生の絆を深める取り組みを応援しています。



テーマ2

## 社会福祉協力校の取り組みについて

### 月寒小学校

月寒小学校では、平成28年9月8日(木)に創造学園に通う約65名の方々に学校にお招きして3年生の生徒との交流学习を行いました。一緒に歌を歌ったり昔遊びをしたり、小学校時代の思い出に関する話をさせていただき、生徒から直接質問をさせていただきました。交流を通して生徒からは「昔の教科書のことや、学校の人数を知ってびっくりしました」「昔、大切だったものを教えてくれました。昔の話をもっと聞きたくなりました」「昔の「茶つみ」の遊び方を教えてもらって、嬉しかったです」等の感想があり、短い時間の中で一人一人がしっかりと学ぶ時間となりました。

今後は、4～6年生を対象として日本福祉学院の学生さんから高齢の方や障がいをお持ちの方の疑似体験を手伝ってもらい当事者の気持ちを理解する学習を予定しており、学習発表会に近隣の幼稚園児や高齢の方を招待して交流をすることも視野に入れています。これからも段階を踏みながら生徒たちに福祉について学んでほしいと考えています。

